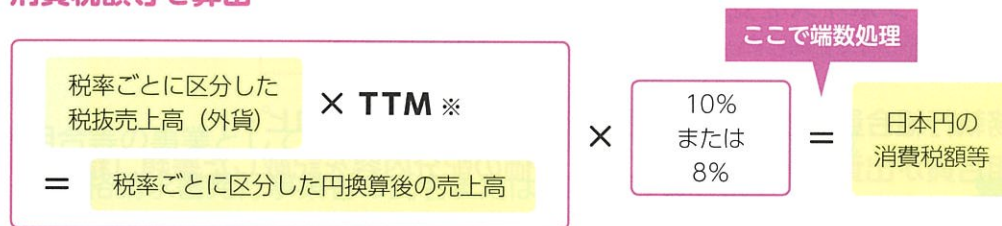


Q 外貨建の取引では どのように記載すればよいですか？

A 外貨建てによる取引も、インボイスに記載が必要な事項は同じです。記載事項は外国語や外貨でも問題ありませんが、「税率の異なるごとに区分した消費税額等」は、円換算した金額を記載しなければなりません。次のいずれかの方法で算出します。

1 税率ごとに区分して合計した外貨の税抜売上高を円換算した後、消費税額等を算出



- A $\$60 \times 135.55 \times 10\% = 813.3 \rightarrow 813$ 円
- B $\$270 \times 135.55 \times 8\% = 2,927.88 \rightarrow 2,927$ 円

2 税率ごとに区分して合計した外貨の税込売上高を円換算した後、消費税額等を算出



- A $\$66 \times 135.55 \times \frac{10}{110} = 823.3 \rightarrow 813$ 円
- B $\$291.6 \times 135.55 \times \frac{8}{108} = 2,927.88 \rightarrow 2,927$ 円

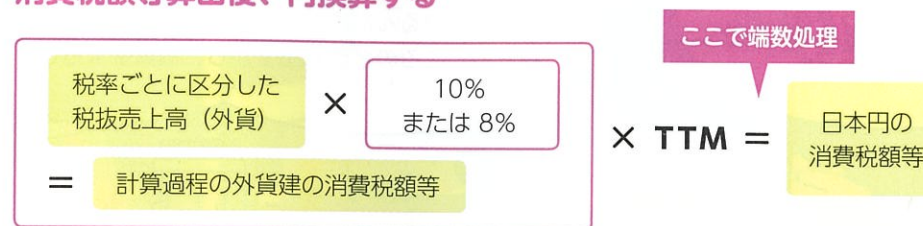
※TTMは電信売買相場の中値のこと。法人税における外貨建債権は、原則として取引日の電信売相場 (TTS) と電信買相場 (TTB) の中値 (TTM) によって換算します。

インボイスの記載例
TTM = 135.55円の場合

Description	Taxable amount (\$)	Tax amount (\$)	JPY Tax Amount (¥)
Dish	\$25	\$2.5	—
Forks	\$35	\$3.5	—
Apples *	\$150	\$12.0	—
Lemons *	\$120	\$9.6	—
Standard tax rate(10%)	\$60	\$6.0	¥813
Reduced tax rate (8%)	\$270	\$21.6	¥2,927

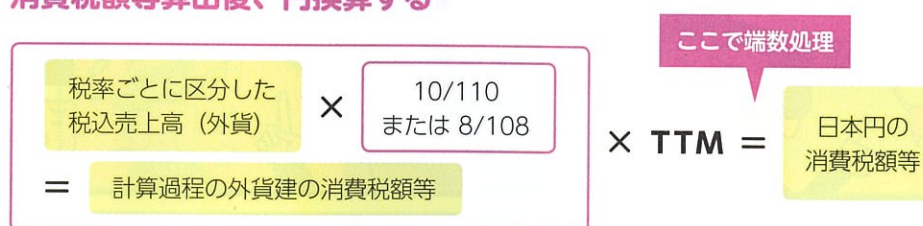
どの計算方法でも、算出される日本円の消費税額は同じです。なお、外貨建ての Tax amount は、インボイスの記載事項として求められていないので、参考として記載します。

3 税率ごとに区分して合計した外貨の税抜売上高から計算過程の外貨建の消費税額等算出後、円換算する



- A $\$60 \times 10\% \times 135.55 = 813.3 \rightarrow 813$ 円
- B $\$270 \times 8\% \times 135.55 = 2,927.88 \rightarrow 2,927$ 円

4 税率ごとに区分して合計した外貨の税込売上高から計算過程の外貨建の消費税額等算出後、円換算する



- A $\$66 \times \frac{10}{110} \times 135.55 = 823.3 \rightarrow 813$ 円
- B $\$291.6 \times \frac{8}{108} \times 135.55 = 2,927.88 \rightarrow 2,927$ 円

外貨建の売上を税抜か税込か、どこで円換算するか考えるってことですね。

